

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09173383 A**

(43) Date of publication of application: **08 . 07 . 97**

(51) Int. Cl.

**A61F 13/74**  
**A41B 9/04**

(21) Application number: **07341612**

(71) Applicant: **UIZU:KK**

(22) Date of filing: **27 . 12 . 95**

(72) Inventor: **KAWAMI FUMIKO**

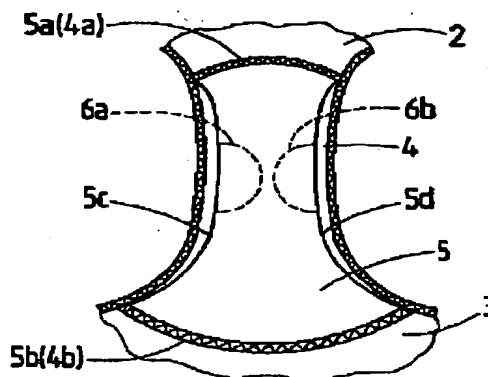
**(54) SANITARY SHORTS**

**(57) Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide sanitary shorts with which a sanitary napkin is stably and surely held at the prescribed position of inleg part at the main body of sanitary shorts and the feeling of wearing after mounting is made satisfactory as well.

**SOLUTION:** Inside the inleg part (clutch element 4) at the main body of shorts, a holding cloth element 5 is provided for fitting and holding the napkin, an inleg part front terminal edge 5a on the side of front body 2 of this holding cloth element 5 and an inleg part rear terminal edge 5b on the side of rear body 3 are fitted to the main body of shorts, and both left and right sides 5c and 5d are made into non-fitted opened sides. When the left and right turn-over elements of napkin fitted to the holding cloth element 5 are respectively turned over through the left and right opened sides 5c and 5d to the rear side of holding cloth element 5, reinforcing cloth elements 6a and 6b are fitted at the rear side section of holding cloth element 5 to which the turned-over elements are abutted.

**COPYRIGHT: (C)1997,JPO**



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-173383

(43)公開日 平成9年(1997)7月8日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 1 F 13/74

A 4 1 B 9/04

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 1 F 13/16

A 4 1 B 9/04

3 1 5

C

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平7-341612

(22)出願日

平成7年(1995)12月27日

(71)出願人 594208318

株式会社ウィズ

大阪市中央区南本町2丁目2番2号

(72)発明者 川見 文子

大阪市中央区南本町2丁目2番2号 株式

会社ウィズ内

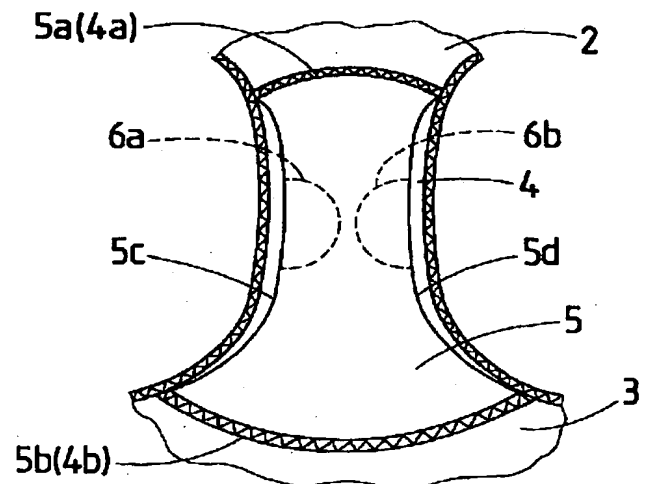
(74)代理人 弁理士 倉内 義朗

(54)【発明の名称】 サニタリーショーツ

(57)【要約】

【課題】 生理用のナプキンをショーツ本体の股部分の所定位置に安定的かつ確実に保持させるとともに、装着後の着用感も良好なサニタリーショーツを提供する。

【解決手段】 ショーツ本体1の股部(クロッチ片4)内側に、ナプキンを当てがって保持するための保持布片5を設け、この保持布片5の前身頃2側の股部前端縁5aと後身頃3側の股部後端縁5bとをショーツ本体1に取着するとともに、左右両側辺5c、5dを未取着の開放辺とする。そして、保持布片5に当てがったナプキンの左右の折り返し片を左右の開放辺5c、5dをそれぞれ介して保持布片5の裏側に折り返したとき、折り返し片が当接する保持布片5の裏面部分に補強布片6a、6bを取着する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ショーツ本体の股部内側に、ナブキンを当てがって保持するための保持布片が設けられ、この保持布片は前身頃側の股部前端と後身頃側の股部後端とがショーツ本体に取着されるとともに、左右両側辺は未取着の開放辺とされ、かつ前記保持布片に当てがったナブキンの左右の折り返し片を前記左右の開放辺をそれぞれ介して保持布片の裏側に折り返したとき、前記折り返し片が当接する前記保持布片の裏面部分に補強布片が取着されていることを特徴とするサニタリーショーツ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、生理用のナブキンをショーツ本体の股部分に安定的かつ確実に保持させるとともに、着用感にも優れたサニタリーショーツに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 生理用ナブキンについては、ショーツ本体の股部分に安定的かつ容易に装着できるように種々の改良が加えられており、最近では、図 7 に示すように、ナブキン本体 41 の左右両側に折り返し片 42、42 が設けられ、これら折り返し片 42、42 に、保護用剥離フィルム（図示省略）で被覆された接着面 43、43 がそれぞれ設けられているものが一般的である。

【0003】 このような従来のナブキンは、図 8 に示すように、折り返し片 42、42 を開いてショーツ本体 45 の股部 46 の内側にナブキン本体 41 を当てがい、折り返し片 42、42 をショーツ本体 45 の外側に折り重ねるとともに前記保護用剥離フィルムを接着面 43、43 からそれぞれ取り外し、接着面 43、43 によって両折り返し片 42、42 をそれぞれ股部 46 の外面に接着するようになっている。

【0004】 これによって、ナブキンがショーツ本体 45 の股部 46 に安定的かつ確実に保持されるようになっている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記した従来のサニタリーショーツでは、ナブキンの折り返し片 42、42 がショーツ本体 45 の外側に露出した状態となるため、見栄えが悪く、またこの部分が股に当たって装着感の悪いものであった。また、折り返し片 42、42 をショーツ本体 45 の股部 46 のどの位置で折り返せば良いかの目印といったものが無いことから、装着位置がずれてしまうといった問題もあった。

【0006】 本発明は係る問題点を解決すべく創案されたもので、その目的は、生理用のナブキンをショーツ本体の股部分の所定位置に安定的かつ確実に保持させるとともに、装着後の見栄えや着用感も良好なサニタリーショーツを提供することにある。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、本発明のサニタリーショーツは、ショーツ本体の股部内側に、ナブキンを当てがって保持するための保持布片が設けられ、この保持布片は前身頃側の股部前端と後身頃側の股部後端とがショーツ本体に取着されるとともに、左右両側辺は未取着の開放辺とされ、かつ前記保持布片に当てがったナブキンの左右の折り返し片を前記左右の開放辺をそれぞれ介して保持布片の裏側に折り返したとき、前記折り返し片が当接する前記保持布片の裏面部分に補強布片が取着されたものである。

## 【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

【0009】 図 1 は本発明のサニタリーショーツの正面図、図 2 は股部分の平面図、図 3 は保持布片の分解図である。

【0010】 本発明のサニタリーショーツは、ショーツ本体 1 の全体が伸縮性糸条によって編成された素材によって縫製されており、大別すると前身頃 2、後身頃 3、及び前身頃 2 の下端部と後身頃 3 の下端部とを接合する股部分であるクロッチ片 4 で構成されている。

【0011】 そして、本発明のサニタリーショーツでは、この股部分を構成するクロッチ片 4 に、ナブキン（図 4 乃至図 6 参照） 11 を当てがって保持するための保持布片 5 を取着したものである。

【0012】 この保持布片 5 は、その全体がクロッチ片 4 の形状にほぼ適合した形状となっており、前身頃 2 側の股部前端縁 5a が、クロッチ片 4 の股部前端縁 4a と共に前身頃 2 の下端部に縫着され、後身頃 3 側の股部後端縁 5b が、クロッチ片 4 の股部後端縁 4b と共に後身頃 3 の下端部に縫着されている。また、保持布片 5 の中央部の幅は、クロッチ片 4 の幅より若干幅狭に形成されているとともに、ナブキン 11 の本体部分とほぼ等しい幅に形成されている。

【0013】 また、保持布片 5 の左右両側辺 5c、5d は、クロッチ片 4 に対して未縫着の開放辺となっており、保持布片 5 のほぼ中央位置の裏側（クロッチ片 4 に対面する側）には、補強布片 6a、6b が縫着されている。

【0014】 この補強布片 6a、6b は、保持布片 5 に当てがったナブキン 11 の左右の折り返し片 12a、12b を、左右の開放辺 5c、5d をそれぞれ介して保持布片 5 の裏側に折り返したとき、折り返し片 12a、12b が当接する位置に取着されている（図 6 参照）。

【0015】 つまり、補強布片 6a、6b は、ナブキン 11 を保持布片 5 に装着するときに、装着部分の保持布片 5 の強度を高めてナブキン 11 の装着作業をし易くするとともに、ナブキン 11 の装着位置を示す目印となるものである。

【0016】 そのため、補強布片 6a、6b は、保持布

片5の左右両側辺（開放辺）5c、5dから中央部近傍までにわたって着着されており、その形状は、ナプキン11の折り返し片12a、12bにほぼ適合する形状に形成されている。

【0017】なお、ナプキン11の折り返し片12a、12bについては種々の形状のものがあるため、補強布片6a、6bの形状は、実際にはこれらの形状の全てを含む形状に形成する。

【0018】また、保持布片5及び補強布片6a、6bとしては、例えば撥水性のラミネート加工された布地等10が使用可能である。

【0019】次に、上記構成のサニタリーショーツにナプキン11を装着する手順について、図4乃至図6を参照して簡単に説明しておく。

【0020】まず、ナプキン11を保持布片5に当てがって、左右の折り返し片12a、12bを開く（図4参照）。このとき、開いた折り返し片12a、12bの位置が補強布片6a、6bの位置に合うようにナプキン11の位置決めを行う。この後、開いた左右の折り返し片12a、12bを、左右の開放辺5c、5dをそれぞれ20介して保持布片5の裏側に折り返し（図5参照）、左右の補強布片6a、6bに当接させて、一方の折り返し片12aに設けられた接着面13をこれに対応する補強布片6aに接着し、他方の折り返し片12bに設けられた接着面14をこれに対応する補強布片6bに接着して（図6参照）、ナプキン11の装着を完了する。

【0021】つまり、折り返し片12a、12bは、保持布片5とクロッチ片4との間の隙間に入り込む形となり、ショーツ本体1の外側（すなわち、クロッチ片4の外側）に露出することはない。そのため、折り返し片12a、12bが直接股に当たるといった不快感を感じる30ことはない。

【0022】

【発明の効果】本発明のサニタリーショーツは、ショーツ本体の股部内側に、ナプキン11を当てがって保持するための保持布片5を設け、この保持布片の前身頃側の股部前端と後身頃側の股部後端とをショーツ本体に取着するとともに、左右両側辺を未取着の開放辺とし、かつ保持布\*

\* 片に当てがったナプキン11の左右の折り返し片12a、12bを左右の開放辺5c、5dをそれぞれ介して保持布片5の裏側に折り返し、折り返し片12a、12bが当接する保持布片5の裏面部分に補強布片6a、6bを取着した構造としたので、折り返し片12a、12bが保持布片5とショーツ本体との間の隙間に入り込み、ショーツ本体の外側に露出することはない。そのため、折り返し片12a、12bが直接股に当たるといった不快感がなく、また装着後の見栄えや装着感に優れたものである。また、折り返し片12a、12bが当接する保持布片5の裏面部分に補強布片6a、6bを取着したことで、この補強布片6a、6bがナプキン11装着時の目印となることから、装着位置がずれてしまうといったことがない。また、補強布片6a、6bによってその部分の強度が高められていることから、ナプキン11の装着作業もし易いものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のサニタリーショーツの正面図である。

【図2】股部分の平面図である。

【図3】保持布片5の分解図である。

【図4】サニタリーショーツの保持布片5にナプキン11を装着する手順を説明する端面図である。

【図5】サニタリーショーツの保持布片5にナプキン11を装着する手順を説明する端面図である。

【図6】サニタリーショーツの保持布片5にナプキン11を装着する手順を説明する端面図である。

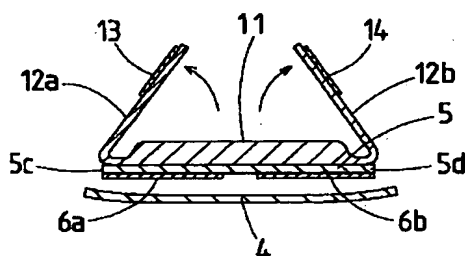
【図7】生理用ナプキン11の一例を示す斜視図である。

【図8】生理用ナプキン11を従来のサニタリーショーツに装着した状態を示す図である。

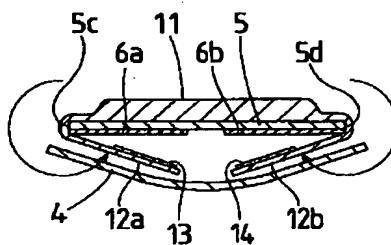
【符号の説明】

- 1 ショーツ本体
- 2 前見頃
- 3 後見頃
- 4 クロッチ片
- 5 保持布片
- 5a 股部前端縁
- 5b 股部後端縁
- 5c、5d 開放辺
- 6a、6b 補強布片
- 11 ナプキン
- 12a、12b 折り返し片

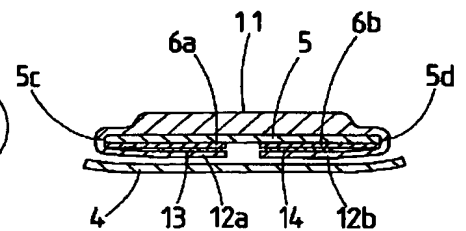
【図4】



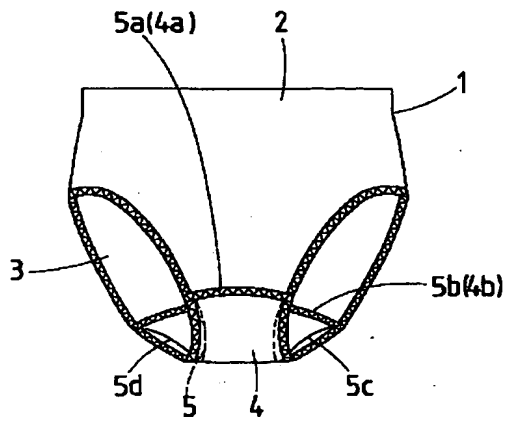
【図5】



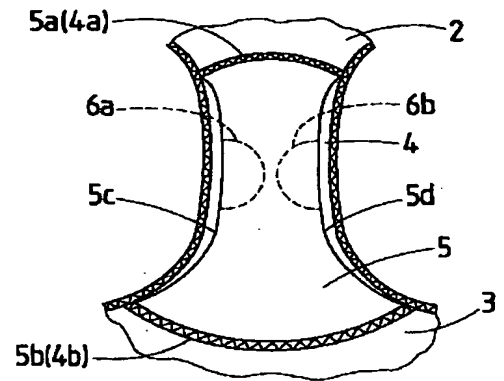
【図6】



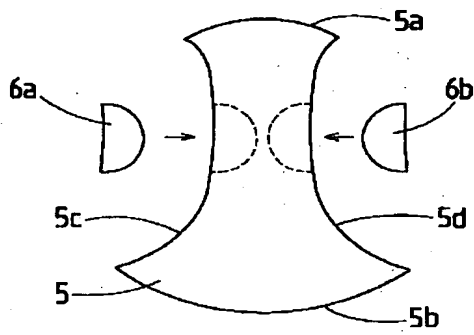
【図 1】



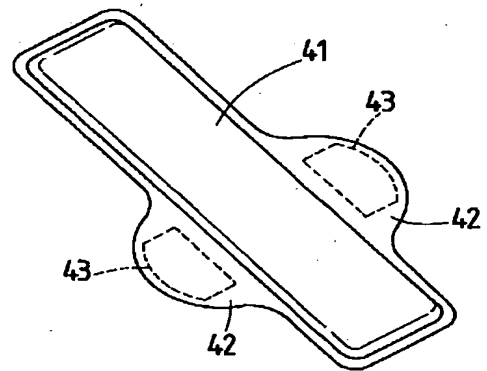
【図 2】



【図 3】



【図 7】



【図 8】

